



<取材のお願い>

2023年9月20日

大阪府立高津高等学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

日本・台湾・韓国・フィリピンの高校生による環境調査研修

～地域の河川と大気を守るための共同研究を目指して～

大阪府立高津高等学校は、9月27日（水）～9月30日（土）、国立台南第一高級中学（台湾）、国立台南女子高級中学（台湾）、完山女子高等学校（韓国）、全州第一高等学校（韓国）、アンジェリカム大学附属高等学校（フィリピン）、から、SDGsに関心のある優秀な高校生9名、教員5名、計14名を招へいし（*うち4名は自費による）、「東アジア・太平洋地域の高校生による環境調査研修」を行います。

台湾、フィリピン、韓国では市民の環境問題に対する関心が著しく高まっています。本校ではSDGsをテーマとした探究活動を重視し、40年以上にわたって大阪城の堀の水についての調査を行ってきました。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の事業として、台湾、フィリピン、韓国の高校生たちと河川調査に取り組んだ実績もあります。韓国と過去6年間にわたって行った調査からは、「日韓の河川には類似した生物種が多いこと」「日韓共に河川の汚染や周辺の乾燥化が進んで、外来生物が増加していること」「淀川では利水、治水活動が河川生態系に大きな影響を与えていること」などが検証されました。今回のプログラムでは、今まで焦点を当ててきた水質に加えて、大気も環境調査対象に含め、さらに調査研究の幅を広げることを目的とします。

研修では、水質分析や生物浄化、アジア全体の大気の現状や展望を専門家による講義で学ぶほか、各国・地域の高校生たちが混成チームを作り、水や大気の実地調査を実施します。大気の調査では、参加者が、自らの居住地の大気サンプルを持ち寄り、それぞれの地域の大気の状態を本校の分光光度計を用いて分析します。さらに意見交換会では、今回の研修によって今後どのような共同研究が可能かを探ります。また、学校周辺にて、大阪の地理や歴史を学ぶための文化体験の時間も設けました。本プログラムにより、高校生たちが絆を深め、地域や世界の環境問題を協力して解決するリーダーへと成長することが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラ



ムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、高校生たちが環境に関する講義に耳を傾ける様子、水質分析や大気分析の実習を行う様子、研究発表会や意見交換会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の前川絃紀教諭へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】
- 水質分析に関する講義と実習（神戸学院大学 橘淳治講師）
 - 生物浄化に関する講義と実習（信州大学 中本信忠名誉教授）
 - アジアの大気に関する講義と実験（大阪公立大学 竹中規訓教授）
 - 大気測定用サンプラーの分析に関する講義と実習
 - 各校の研究および活動の発表会 ●意見交換会
 - 大阪の地理・歴史を学ぶ文化体験

【実施場所】 高津高校

【研修日程概要】

9月27日（水）	午後：関西国際空港到着
9月28日（木）	午前：開会式、本校での取り組み発表 神戸学院大学 橘淳治講師による水質分析に関する講義と実習 午後：信州大学 中本信忠名誉教授による生物浄化に関する講義と実習 学校周辺にて大阪の地理・歴史を学ぶ文化体験
9月29日（金）	午前：大阪公立大学 竹中規訓教授によるアジアの大気に関する講義と実験 各校の研究および活動の発表会 午後：大気測定用サンプラーの分析に関する講義と実習 意見交換会、修了式
9月30日（土）	午前：空港に移動 午後：関西国際空港から離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

大阪府立高津高等学校
(担当：前川)

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
(担当：田中(禎)、太田)